

第40回日本静脈学会総会が

9月17日(木)～18日(金)に  
Webにて開催されます。

当院からは、

血管外科センター長 今井 崇裕 先生が

17日(木) 10:10～10:20に、

看護部 黒瀬 満梨奈 看護師が

18日(金) 16:45～17:30内に

学術発表をされますのでご紹介します。

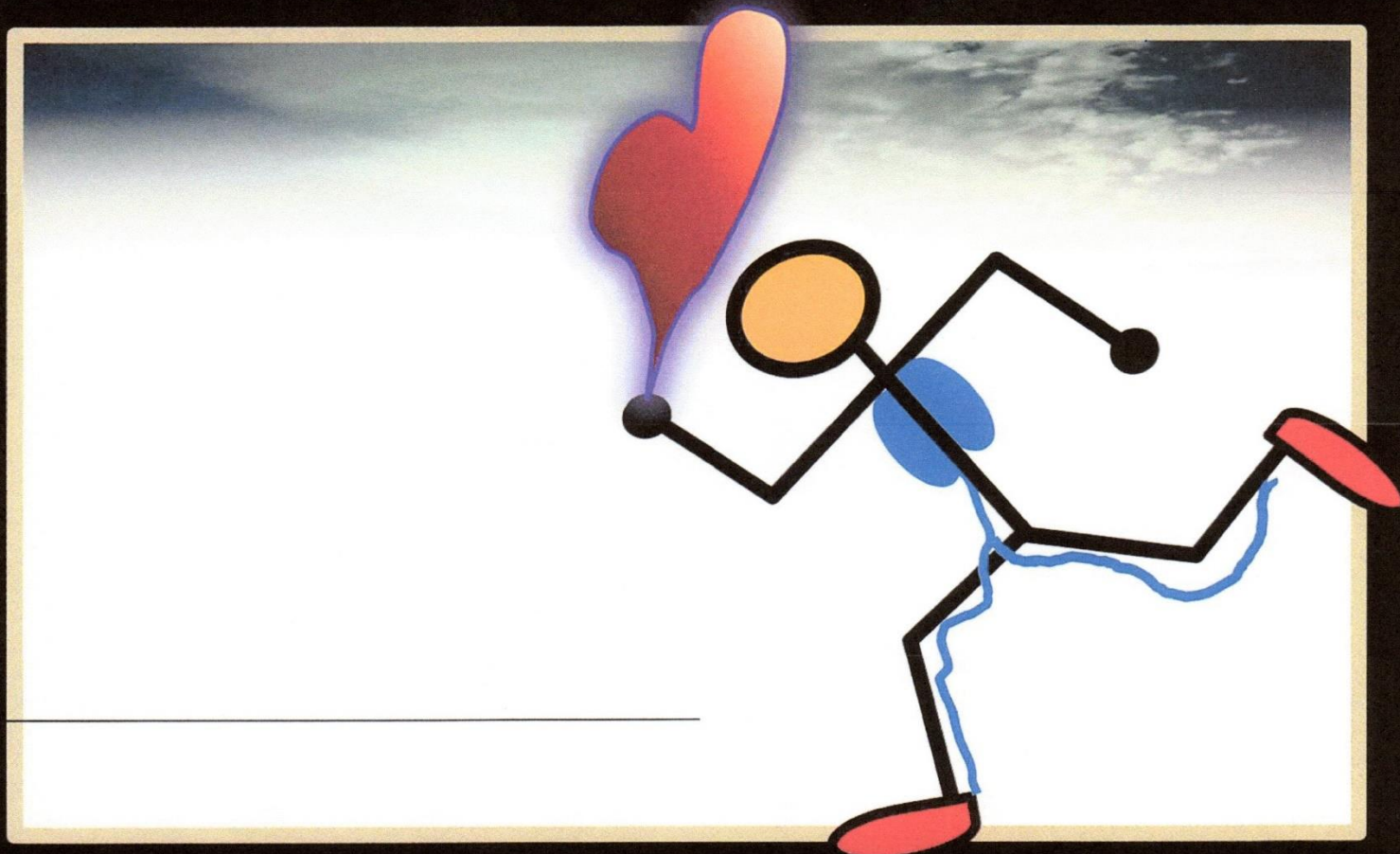
上記2日間は血管外科外来に大きなプロジェクターを  
準備し日程すべての講演を視聴可能にしております。

ご興味のある方は是非足をお運びください。



# 第40回日本静脈学会総会

The 40th Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Phlebology



## 探究心： 命を救う・健やかな生活を作る

会期 ~~2020年6月18日(木)～19日(金)~~ Web 開催  
会場 ~~秋田キャッスルホテル~~ 秋田市中通  
会長 山本浩史 秋田大学大学院医学系研究科心臓血管外科学講座教授

演題募集期間：2019年12月1日(日)～2020年1月13日(月)  
<https://site2.convention.co.jp/jsp40/>

【開催事務局】

秋田大学大学院医学系研究科心臓血管外科学講座  
〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1  
TEL: 018-884-6135 FAX: 018-836-2625  
E-mail: cvs@cvs.med.akita-u.ac.jp



【運営事務局】

日本コンベンションサービス株式会社 東北支社  
〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6F  
TEL: 022-722-1311 FAX: 022-722-1178  
E-mail: jsp40@convention.co.jp

## シンポジウム3 「下肢静脈瘤治療：血管内焼灼術の適応と限界」

課題を克服するベストな下肢静脈瘤治療の選択は？

- ストリッピング, 血管内焼灼術, 血管内塞栓術 -

*Which is the best treatment for varicose veins to overcome the problems?*

*- Stripping, Terminal ablation, Non-terminal ablation -*

西の京病院血管外科 今井崇裕

*Department of Vascular Surgery, Nishinokyo Hospital, Takahiro Imai*

抄録

【はじめに】 現在国内における下肢静脈瘤の治療は、2011年から保険適応となった血管内焼灼術が標準術式である。2019年から新たに血管内塞栓術が保険適応となり、従来のストリッピング術、硬化療法に加えて治療法の選択肢が増えた。今後さらに患者の病態に合わせた治療法の選択が求められる。当院では本年1月から VenaSeal closure system による血管内塞栓術を開始した。この治療経過を踏まえて、2013年1月・2020年1月に当院で治療した5,829例 (M:2,160/ F:3,669, 62.6±11.5歳)を対象に、治療法の選択とその課題について検討した。

【血管内塞栓術】 2015年頃より血管内塞栓術は国際学会で討論されていた。化学薬剤により治療血管を閉塞させるため、熱刺激で血管を収縮させる血管内焼灼術と比較して、治療時に TLA 麻酔が不要であること、術後の皮膚熱傷斑や神経症状を回避することが可能である。以上より NTNT ablation と総称され、シアノアクリレートを使用した VenaSeal closure system, ポリドカスクレオールに機械的刺激を組み合わせた ClariVein, 硬化剤に静脈を閉鎖させるデバイスを付加した VBAS などの選択肢がある。2019年3月に国内で薬事承認を受けた VenaSeal closure system は、3年閉塞率は94.4%で RFA と同等、患者の QOL が高い、一方で術後合併症に皮膚過敏症やアレルギー反応等の報告がある。

【治療の課題】 当院では2018年1月以降の症例にストリッピング術は行っておらず、ほぼ全ての症例において血管内焼灼術で治療している。治療の主な課題は、遠隔期の再発と術後の神経症状である。当院で血管内焼灼術を施行した5,271例において、52例の再発が超音波検査で指摘され、23例で術後の神経症状が1年以上持続した。これらの症例については、治療法を検討する余地があると思われた。

【結語】 再発、神経症状の合併、血管径、閉塞率、患者 QOLなどを考慮した、治療法選択の基準について検討した結果を報告する。

ベナシールを使用した NTNT アブレーションの術後看護のポイント  
A point of post-operative nursing care for NTNT ablation with VenaSeal

○黒瀬満梨奈<sup>1</sup> 今井崇裕<sup>2</sup>

1. 西の京病院看護部 2. 西の京病院血管外科

抄録

2011年より下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術が国内で保険適応となった。現在、当院では下肢静脈瘤に対してレーザーやラジオ波による伏在静脈の治療と stab avulsion 法による瘤切除を標準術式としている。また2019年より VenaSeal を使用した NTNT ablation が国内で保険適応となり、当院では本年1月から治療を開始した。この治療では stab avulsion による瘤切除を同時に行わないことが一般的であるため、術後下肢の巻き上げや弾性ストッキングによる圧迫は不要である。加えて血管内焼灼術のように熱による組織へのダメージが少ないため、術後の疼痛や痺れも少ないと言われている。以上の理由で、より低侵襲であるため今後この治療の普及が見込まれている。今回、血管内焼灼術と VenaSeal を使用した NTNT ablation の術後看護のポイントについて比較検討した。

対象は2020年1月から下肢静脈瘤で血管内焼灼術と VenaSeal を使用した NTNT ablation の治療を受けた患者各14名。検討項目はVASスケールを使用した術後疼痛、痺れの有無など患者の訴えに対する聞き取り調査内容。内出血の程度やアレルギー反応の有無に関する術後外観上の変化とした。上記内容につき、術後看護のポイントについて検討した結果を報告する。

1日：9月17日(木)

チャンネル	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
A		開会式 8:50-9:00	シンポジウムA1 災害時静脈血栓症 危機管理とチーム医療 110分 座長：植田徳彦 横谷和彦 副座長：野田 均	シンポジウムA2 肺高血圧状態に対する 治療戦略 100分 座長：野田 均	シンポジウムA3 下肢静脈瘤治療： 血管内焼灼術の適応と限界 140分	教育講演1 佐藤洋 30分 座長：植田 均	LS-1 コウテイエン シヤリン	会長講演 30分 座長：山本文雄	会務総会 30分	スポンサー シンポジウム 10分 座長：野田 均	特別企画 下肢静脈血栓症の現状と問題 緊急報告COVID-19と 静脈血栓症 90分 座長：若井武尚 山本文雄	特別講演1 秋野公彦 30分 座長：若井武尚	
B							LS-2 メディオコシラタ			国際セッション (国際委員会企画) 140分	特別講演2 下肢静脈血栓症の現状と問題 緊急報告COVID-19と 静脈血栓症 90分 座長：若井武尚 山本文雄		
C			ハネルディスセッション1 右心室拡張(下大静脈・右心房・ 右心室・肺動脈)の治療戦略 90分 座長：植田徳彦 北川哲也			要演講演1 腫瘍外科に おける静脈再建	LS-3 第一三共			ハネルディスセッション2 難治性肺動脈血栓症の治療 120分 座長：山田 隆之 田島廣之	要演講演2 先天性肺動脈血栓症 90分 座長：若井武尚		
D											要演講演3 急性肺動脈 血栓症1	一般講演1 急性肺動脈 血栓症と 静脈血栓症	
E							一般講演2 肺動脈血栓症 に対する 薬物治療				一般講演4 肺動脈血栓症2	一般講演5 肺動脈血栓症-3	

2日：9月18日(金)

チャンネル	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
A			ハネルディスセッション3 妊産婦静脈血栓症の 診断と治療 120分 座長：植田徳彦 安達知子	シンポジウムA4 日本静脈血栓症 学会(JVSC)の 最新動向 (CEAP, VCSS, QOL 指標)の活用 60分	シンポジウムA5 急性肺動脈血栓症 に対する薬物治療 - Current status and future perspectives	YIA 役員 20分 座長：植田徳彦	LS-4 インテグラル	「新薬注静脈学」 特別記念 50分 座長：植田徳彦 1. 藤沢 洋 2. 藤沢 洋	招請講演2 Andrew Nicholaides 50分 座長：八尋 隆	招請講演1 Andrew Nicholaides 50分 座長：八尋 隆	一般講演6 急性肺動脈 血栓症と 静脈血栓症 の診断と 治療	開会式 17:30-17:40	
B			要演講演5 急性肺動脈血栓症 の予防、診断、 治療-1 若尾 一	要演講演6 急性肺動脈血栓症 の予防、診断、 治療-2 若尾 一	要演講演7 (平井 義) 適切な 圧治療法-1	教育講演2 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	教育講演3 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	特別講演2 わたしと静脈 久松良彦 50分 座長：若井武尚	一般講演8 急性肺動脈 血栓症-4	招請講演2 Andrew Nicholaides 50分 座長：八尋 隆	一般講演7 急性肺動脈 血栓症と 静脈血栓症 の診断と 治療	シンポジウムA5 急性肺動脈血栓症に 対する薬物治療 - Current status and future perspectives	平井義典 17:20-17:30
C			一般講演9 下肢静脈-1	一般講演10 下肢静脈-2	要演講演8 (平井 義) 適切な 圧治療法-2	教育講演4 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	LS-5 ファイバー グループ (Cyanacrylate emulsions) 下肢静脈 血栓症	一般講演12 下肢静脈-4	一般講演13 下肢静脈-5	招請講演2 Andrew Nicholaides 50分 座長：八尋 隆	一般講演14 下肢静脈-6	一般講演15 下肢静脈-7	
D			教育講演5 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	要演講演9 (平井 義) 適切な 圧治療法-1	要演講演10 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療	教育講演6 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	LS-6 ハイエル	要演講演9 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療	要演講演17 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療	招請講演2 Andrew Nicholaides 50分 座長：八尋 隆	一般講演17 急性肺動脈 血栓症-6	一般講演18 急性肺動脈 血栓症-7	
E			一般講演19 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療 座長：若井武尚	要演講演10 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療	要演講演21 急性肺動脈 血栓症 の診断と 治療						一般講演18 急性肺動脈 血栓症-8	一般講演19 急性肺動脈 血栓症-9	

内視鏡下静脈血栓治療研究会  
14:00-